



## 1月28日の出来事

今日の学校だよりは、昨日一日の出来事を時系列で紹介します。

### ①朝ボラ

美化委員会の呼びかけで、朝のボランティア活動に取り組んでいます。7時45分から8時までの短い間ですが、寒さに負けずにたくさんの子供たちがボランティアに参加してくれていました。ボランティアに参加している子供たちは、皆笑顔で参加してくれています。



文教大学の二宮教授の「全国学生1万人アンケート～ボランティアに関する意識調査～」によると「ボランティア活動に参加した理由」を問う調査では、「社会のために役立ちたい、困っている人を助けたい」という回答が1位で、これは日本の特徴とされています。また「ボランティアに関心があり、活動もしている人の方が幸福度は高い」という数値が出たそうです。これは社会的なつながりを強化し、自尊心を高め、目的意識を持つことに寄与するため、精神的な健康が向上するからだそうです。子供たちの笑顔の理由がわかったような気がします。

### ②全委員長会議

火曜日は係・委員会活動の日ですので、朝から係活動や委員会活動に取り組んでいます。一方、各委員長は月一度の校長室での全委員長会議に参画しました。各委員会が今後に行う予定や計画について出し合ったり、活動後に振り返りをしたり、改善点を話し合ったりする時間になります。例えば、タブレット委員からは「3月にタブレットの回収をします。番号のシールの貼り替えをしますので、2月4・7・13・14日にシールが剥がれている人は持って来てください。」など周知を図っていました。また、2月27日(木)のわくわく集会で、一年間のまとめを全委員長から発表してもらうということで、委員会活動への思いや今後の期待などをしっかり聞きたいと思いました。



### ③幼保小中連携の日

帯中校区では、幼児期の教育と小学校教育、中学校教育がスムーズに繋がっていくことを目的に、それぞれの子供たちの発達の段階を踏まえた活動を充実させ、互いの教育・保育を理解し合うために、連携の日を設定しています。授業を参観したり、各分科会でテーマごとに、子供たちの育ちや学びを共通理解しながら、改善点を出し合ったり共通理解したりしながら連携を図っています。昨日は、帯中校区の小学校が授業をして、そこに帯中や校区の幼稚園・保育園の先生方が参観する形式でした。この「繋ぐ」意識はとても重要で、小学校は中学校に繋ぐ意識をもちつつ、その先にある社会への繋がりを常に意識しながら教育活動にあたるのが大切だと思います。

